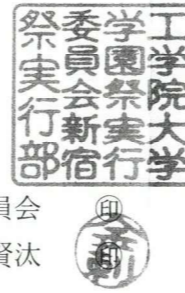


# 2022 年度工学院大学学園祭実行委員会 総括

工学院大学学園祭実行委員会  
委員長 金刺 賢汰



## 1. 構成

学園祭実行委員会は新宿祭実行部の3年生29名と、八王子祭実行部の2年生80名に1年生を加えた委員で構成される。本委員会は、二部に分かれ、5月に八王子キャンパスで開催するプレ八王子祭と歩け歩け大会、10月に八王子キャンパスで開催する八王子祭、11月に新宿キャンパスで開催する新宿祭を企画・運営する組織である。

## 2. 方針

本会は、“学生が学術・文化活動の成果を発表する場を企画・運営するとともに、学園の研究内容の公開及び広報並びに工学院大学の発展に寄与することを目的に、学園祭を企画・運営する”ことを存在意義としている。また、学園祭実行委員会という1つの組織設立が間もないため、“新体制としての運営基盤の確立と学園祭の進化を図る。”という事を方針としていた。また今年度は未だ新型コロナウイルス感染拡大の影響があるため、“八王子祭実行部と新宿祭実行部の連携体制をさらに見直し、1つの委員会として運営する基盤の再構築”を方針とし、実行部を中心に助力するという形にとらわれず、委員会全体で行事の運営を行い、今まで目の行き届かなかった範囲の管理体制をより強固な者にする。この方針とすることにより、今年度は昨年度以上に新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、来場者の方々へ満足して学園祭を楽しんで頂けるよう、安心・安全な運営を行うための準備を心がけていく。

## 3. 目的

本会は5月に開催するプレ八王子祭、歩け歩け大会、10月に開催する八王子祭、11月に開催する新宿祭における企画・運営及び、学園祭に携わる学生団体を管理することを活動の中心としている。八王子祭、新宿祭双方の運営を円滑にし、参加者と来場者ともに十分に盛り上がる学園祭にすることで、広く学生への参加意欲を喚起し、学生が学術・文化活動の成果を発表する場を提供すると共に、学園の広報並びに工学院大学の発展に寄与する事を目的としている。また、学園祭が本学及び地域の一大イベントへとするために、キャンパス周辺地域との交流を行い、本学園生活の充実に貢献するその他の活動も行っていく。

## 4. 活動内容

### a) 実行部内での全体会議

八王子祭実行部、新宿祭実行部それぞれで、定期的に各構成委員全員での会議を行った。各局の活動報告やスケジュールの共有をメインとし、委員会内での取り決め事項や方針の決定、学園祭運営をより円滑に行うためのディスカッション等を行い、一つの行事を運営する度に全体会議で反省点を共有し、フィードバックを行うことで日々の活動に対する改善、意識統一を図った。

### b) 学園祭としての全体会議

定期的に、学園祭実行委員会全員での会議を行った。普段、活動しているキャンパスが異なる八王子祭実行部と新宿祭実行部の間で情報の共有を行い、学園祭の運営における協力体制をより強固なものにすることを目的とした。会議では、二つの学園祭を円滑に運営するための情報や、実行部としての方針や目標などを共有し、委員同士でディスカッションを行うことにより、各実行部から出た意見をとりまとめた。また、八王子祭実行部員と新宿祭実行部員がディスカッションを通して、学園祭の運営に必要な知識や考え方だけでなく学園祭の魅力を引き継ぎ、今後の活動の発展に繋げた。新型コロナウイルスの影響により、開催が困難となってしまったため、今後定期的な会議が課題となった。

### c) 2022 年度プレ八王子祭

5月に八王子キャンパスにて行う、一般学生及び近隣住民を主に対象とした学園祭であり、学生団体にステージ企画や模擬店で参加してもらい、来場者や参加団体、一般学生の気分転換をしてもらうことを目的とする。ステージ企画やイベント、模擬店の企画・運営や10月に行う八王子祭の情報宣伝や行ったことで、学生の参加者の増加、八王子祭への安心・安全かつ円滑に運営を行う事を可能にした。また、新宿祭実行部は模擬店の出店による運営や歩け歩け大会の準備、プレ八王子祭の安心安全かつ円滑な運営の為にサポートを行った。

### d) 第49回歩け歩け大会

例年プレ八王子祭の翌日深夜0時から同日の正午までの間に行われ、本学の八王子キャンパスから新宿キャンパスまでの約43kmの道のりを歩く大会を運営予定であったが、今年度は6月に延期となったが、雨天により開催中止の判断となった。両実行部での密な連絡を取り、参加者の安心かつ安全に楽しめる大会を目指す予定であった。新型コロナウイルスを明け初の開催となったいたため、今後次年度の大会運営への強固な引き継ぎを行う。

### e) 第60回八王子祭

10月に八王子キャンパスで開催し、八王子祭実行部が主体となり、企画・運営を行った。4年ぶりの一般来場者を招いた対面での開催となり、コロナ禍により感染症対策を行った新しい形での開催形態となった。八王子キャンパスでの学園祭の運営、学生団体への発表の場を提供することができた。新宿祭実行部はキャンパスコモンをはじめ体育館までの学校の広範囲で同時に行われる様々な企画の運営や、装飾品の監視をサポートし、八王子祭実行部だけでは日の行き届かない範囲の管理や、緊急事態に早急に対応した。

詳細は「2022 年度工学院大学学園祭実行委員会八王子祭実行部 総括」参照

### f) 第73回新宿祭

11月に新宿キャンパスで開催し、新宿祭実行部が主体となり、企画・運営を行った。新宿祭実行部は学園祭を運営する新宿祭実行部の委員が少ないため、八王子祭実行部の委員を含め、準備、当日の運営、撤収を行った。新宿祭は3年ぶりでの一般来場者を招いた対面での開催となり、参加団体による展示企画やアトリウムでのステージ企画、模擬店を出店したことで発表の場を設け、アーティストライブをはじめとした声優トークショー、芸能ライブを行った。加えて学園祭グランプリでは「一般いいね賞」を獲得し、大学の広報活動、発展に寄与した。

詳細は「2022 年度工学院大学学園祭実行委員会新宿祭実行部 総括」参照